

●地域のめざす姿（体系）

| | |
|-----|--|
| 大目標 | 市民一人ひとりが自分の生き方を大切にする |
| 中目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な生き方が認められお互いに肯定できる ・自分にできることで貢献する |
| 大目標 | 市民一人ひとりが子どもを大切にする |
| 中目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・次世代に夢と希望を持っている ・次世代育成に参加している自覚を持つ ・子どもを通して人とのつながりが深まる ・身近な生活の中で子育てを認め合える |
| 大目標 | 地域の子どもは地域で守り育てる風土が浸透している |
| 中目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・困った時に助け合える ・子どもの安心・安全を守ることができる ・親と子を支える地域活動が活発になる環境がある ・お互いに連携し合える ・効果的な情報提供ができる ・家庭生活と職業生活の両立を図れる職場・環境がある |

●これから親になる人のめざす姿（体系）

| | |
|-----|--|
| 大目標 | 将来、親になることを肯定的にとらえられる |
| 中目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・将来親になることに対する希望を育てる ・妊娠期間が健やかに過ごせ、安全な出産が迎えられる ・子どもが欲しい人の力になる |

(計画書より抜粋)

2 計画の推進にむけて

せとっ子未来会議は、「子どものめざす姿」「親のめざす姿」「地域のめざす姿」「これから親になる人のめざす姿」を実現するために、日常生活の中で、『広がる和(輪)』をまわしていくことを提案します。

みんなでまわそう！『広がる和(輪)』

- 1 「めざす姿」を実現するための目標を持とう！
 - ・ 身近な生活をよりよくしていく目標 「家族とよりよい関係を築こう！」
 - ・ 家庭や地域、みんなで共有できる目標 「子どもを大切にする地域にしよう！」
 - * 小さな目標でも大きな目標でも、どんな目標でも「めざす姿」につながっていればOKです。
- 2 「めざす姿」を自分の言葉でコミュニケーションしよう！
 - ・ 『広がる和(輪)』はいつでも、どこでもまわせます。
 - ・ 生活の中で出会う人(子ども・家族・地域の人・職場・友人 etc)に、「めざす姿」について思っていることなどを自分の言葉で語ってみる。
 - ・ そして相手の人の「めざす姿」にも思いを馳せて耳を傾ける。
 - * 双方向のコミュニケーションで、身近な人との“対話”にチャレンジ！
- 3 人と人との違いに気づき、心と心をつなげよう！
 - ・ 身近な人との“対話”の中から、いろんな違いが見えてきます。
 - ・ 考えの違い、立場の違い、価値観の違い、感情の違い、環境の違い、様々な違いに気づいたときに、共感・納得・理解の輪を広げていこう。
 - * 人との違いの発見は、新しい自分との出会い！
- 4 そうか！と気づいたことから“行動”しよう！
 - ・ 今までやっていなかったことに挑戦してみる、今までやっていたことをやめてみる、今までやっていたことを少し変えてみる。生活の中で、できることからやってみる。
 - ・ 人のため、地域のために、自分のできることをやってみる。
 - * できることを、思いついたら、すぐ、まずやってみる！そこから何かが動き出す！
- 5 自分自身を振り返ってみよう！
 - ・ 嬉しかったこと、悲しかったこと、感動したこと、悔しかったこと、いろんな気持ちを振り返ってみると、がんばれた自分に出会えます。
 - ・ 結果がどうであれ、まわりがどうであれ、自分がやったことは自分が一番知っているはず。自分で自分を認めてあげることも大切です。
 - * 嬉しいことは自信にかえて、悲しいことは次への挑戦に！！
 - * そしてまた、『広がる和(輪)』をまわしていこう！！

『広がる和(輪)』がまわっていくことを応援します！

地域における各種団体や行政は連携し、『広がる和(輪)』が身近な市民生活の中でまわっていくことを応援します！

- ① 各種団体や行政が行う事業においては、その事業の中で『広がる和(輪)』がまわっていくよう工夫をします。(『広がる和(輪)』がまわることによって得られる達成感や充実感を体験できる機会の充実)

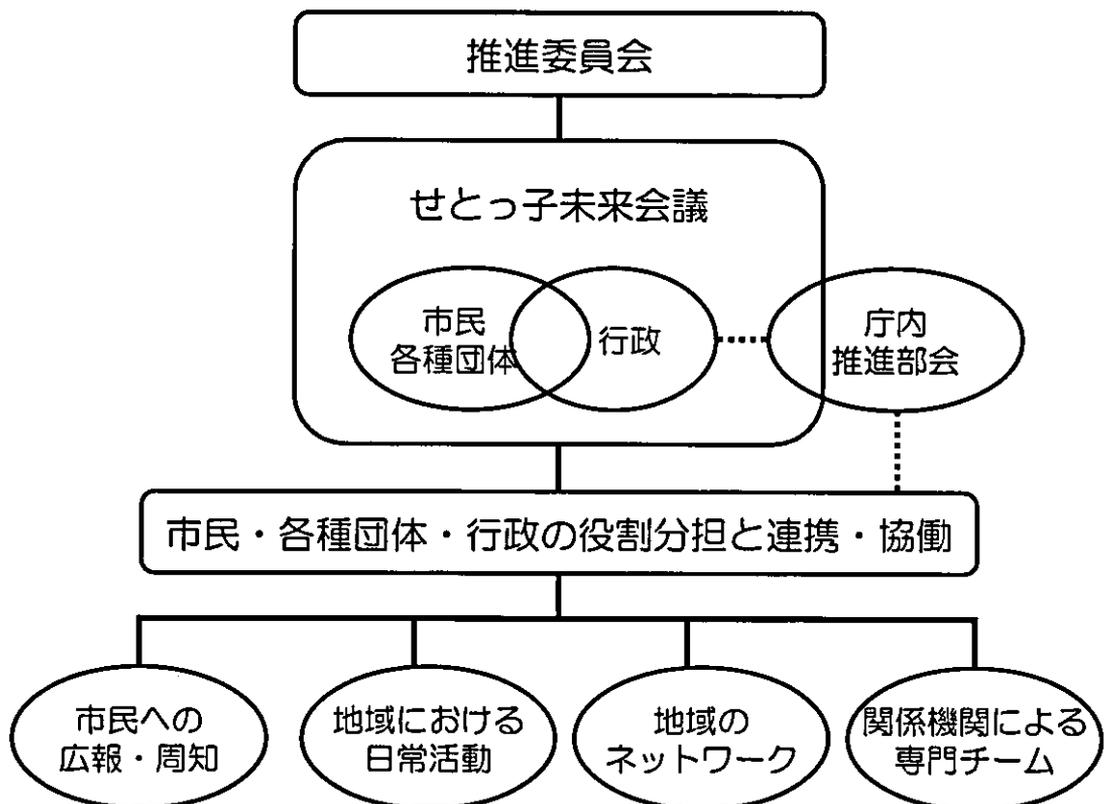
- ② 地域や家庭において『広がる和（輪）』がまわりやすくなるようなきっかけづくりや仕組みづくりを行います。
- ③ 啓発活動やコミュニケーション力の向上にむけた教育的働きかけを行い、『広がる和（輪）』がより多くまわっていく土壌づくりに努めます。

『広がる和（輪）』をみんなでまわして、市民一人一人が、心と心のつながりを幾重にも広げ、あたたかさを感じる生活の中で「瀬戸で生きていくことは楽しいなあ」と言える瀬戸のまちをつくっていきましょう！！

<推進のスローガン>

つなごう心！せとっ子未来の和

(推進体制図)



分担研究報告書

次世代育成支援行動計画策定に果たす保健所の役割

澁谷いづみ（岡崎市保健所）

藤内修二（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター）

岩室紳也（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター）

尾崎米厚（鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野）

福永一郎（保健計画総合研究所） 犬塚君雄（愛知県健康福祉部）

糸数 公（沖縄県北部福祉保健所） 尾島俊之（自治医大公衆衛生学）

笹井康典（大阪府地域保健福祉室） 田上豊資（高知県健康福祉部）

日隈桂子（玖珠町保健環境課）

榎本真幸（愛媛大学病院医療福祉支援センター）

土屋厚子（静岡県西部保健所）

福島富士子（国立保健医療科学院公衆衛生看護部）

要 旨：主に市町村福祉部局が策定する次世代育成支援行動計画に於いて、保健所の果たした役割について、市町村を対象にした全国調査（回収率 48.8%）を実施し、1525 市町村の調査回答から明らかにした。その策定経過において、59.1%の市町村が何らかの支援を保健所から受けていたと考えられた。最も多い支援方法は、母子保健統計などの資料提供で、23.7%の市町村が受けていた。また保健所職員が策定委員会や作業部会の一員として支援した市町村は、20.7%であった。市町村の人口規模別に分析すると、資料提供は人口規模にかかわらず保健所支援が行なわれていた。策定部会や作業部会の委員としての支援は、人口規模が大きいほど行われる傾向にあった一方で、保健所からの先行自治体や他自治体の策定状況についての情報提供は、人口規模が小さい市町村ほどよく行われる傾向があった。計画策定についての研修会の開催は、人口規模が小さい市町村によく行われる傾向があった。人口規模により保健所の支援内容に一定の傾向が認められた。保健所からの支援で調整に関するものは少なかった。また、首長への働きかけやニーズ分析への支援は少なく、市町村の福祉部局への介入の困難さを示唆していた。

A. 緒 言

平成 16 年度に市町村で策定されている「次世代育成支援行動計画」は、市町村母子保健計画とは、その策定事務局となる担当が異なっている場合が多く、保健所はその策定において、母子保健の視点から市町村を支援し、地域の母子保健福祉の増進を図ることが必要と考えられる。そこで次世代行動計画策定の保健所の役

割について、支援の内容や市町村の人口規模による分析を試み検討したので報告する。

B. 対象及び方法

平成 16 年度藤内班調査（3125 市町村対象、回収率 48.8%）に回答のあった 1,525 市町村を対象に、保健所の支援内容を検討した。内容として「母子保健統計などの資料提供」「策定委

員会や作業部会に一員としての参画」「計画策定についての研修会の開催」「ニーズ分析への支援」「先行自治体など他自治体の策定状況に関する情報提供」「母子保健担当課と児童福祉担当課の協同の促進」「首長や幹部職員への働きかけ」「策定委員会や作業部会の運営への支援」等の支援を市町村が受けたかを検討した。さらにこれらについて、市町村人口規模別に8,000未満、～2万未満、～10万未満、10万以上の4群でCochran-Armitage法による傾向性の検定を行った。10万人以上のスコアを20と40の2方法で検定したが、有意差の出現の有無に両者差がなかった為、20を採用し検討することとした。

C. 結果

1. 保健所の支援策の現状

保健所による母子保健統計などの資料提供は361市町村の23.7%に行われており、最も多い支援方法であった。また、保健所職員が策定委員や作業部会員として参加していた市町村は315の20.7%であった。保健所から先行自治体や他の自治体の情報提供を受けた市町村は216の14.2%であった。策定について保健所主催の研修会を受講したのは208の13.6%であった。特に保健所の支援を受けなかったとした市町村は623で40.9%であった。全体として何らかの保健所の支援を受け策定したとする市町村は902で59.1%であった。

保健所の支援として少数だったのは、策定に関して首長や幹部職員への働きかけは2.3%

で、人口10万以上の自治体には該当がなかった。また、保健所のニーズ分析への支援は4.6%であった。策定委員会や作業部会の運営に関する支援は5.0%の市町村が受けていた。保健所による市町村内の母子保健担当課と児童福祉担当課の協働を促す調整は、6.2%の市町村が受けた。

2. 市町村人口規模による保健所の役割

$\chi^2(p=0.01)=6.635$ で人口規模別傾向を検定すると、保健所による母子保健統計などの資料提供は、 $\chi^2=0.12622$ で有意差は無く、どの人口規模の市町村も同様に支援され実施されていた。策定委員や作業部会員としての支援は、 $\chi^2=21.94158$ で有意差があり、人口規模が大きいほど委員として参画している傾向があった。保健所による先進自治体や他自治体の情報提供は、 $\chi^2=30.34737$ で有意差があり、人口規模が小さいほどよく情報提供されている傾向があった。保健所主催の研修会は、 $\chi^2=8.03844$ で有意差があり、人口規模が小さいほどよく受講している傾向があった。

ニーズ分析の支援は、 $\chi^2=8.95416$ で有意差があり、首長や市町村の幹部職員への働きかけは、 $\chi^2=17.13167$ で有意差があり、また策定組織である策定委員会や作業部会の運営支援は、 $\chi^2=8.05835$ で、いずれも人口規模が小さいほど支援を受けた傾向があった。保健所による母子保健担当と児童福祉担当との協働を促す支援は、 $\chi^2=1.95806$ で有意差は無く人口規模による支援の差異はなかった。

保健所による支援全体では、 $\chi^2=0.34365$ で有意差はなく、人口規模によらずいずれも何らかの支援を受けていた。

特に、策定委員や作業部会員としての支援、先進自治体や他自治体の情報提供、および首長や幹部職員への働きかけの3者については、さらに $\chi^2(p=0.001)=10.828$ で検討しても有意差が認められ、人口規模による支援の差が明らかであった。

D. 考 察

児童育成支援行動計画の策定は、保健所と関係の深い保健部局である市町村保健センターなどよりも福祉部局で行われていることが多い。保健所の策定支援で、母子保健統計などの資料提供が支援内容として最も多く、しかも人口規模によらず行われていたことから、福祉部局の策定事務局に直接働きかけるより、保健センターや保健部局を対象に保健所の支援が実施されていたのではないかと考えられた。

母子保健と福祉の協働を促す支援や、首長や幹部職員への働きかけ、策定組織の運営を支援するといった調整に関する支援が大変少なかったことは、自治体内部の母子保健と福祉の調整の困難さを示唆し、市町村の外からの支援のあり方の課題と思われた。

人口規模が増大するにつれ、策定委員などとしての参画といった組織としての支援が求められていると考えられた。また人口規模の小さい市町村ほど、他の自治体事例など具体的な情報収集やニーズ分析の支援など、専門的な技術

支援が求められていると考えられた。策定のキーパーソンとなる職員の調整などの役割も人口規模が小規模ほど保健所に求められる支援と考えられた。

保健所の支援の少なかった首長や幹部職員への働きかけ、策定委員会などの運営支援及び保健と福祉の協働を促すといった支援は、市町村母子保健計画を発展的に次世代育成支援行動計画に盛り込んでいく重要な機能であったが、この点では十分な数の市町村支援ができたとは考えにくかった。

しかしながら、全体では6割の市町村に何らかの策定支援が行われており、保健所は資料や情報を提供するとともに、策定委員として参画し、研修会を企画することで、母子保健の視点で策定することの意義を管内の市町村に啓発し、次世代育成支援行動計画の策定に支援できたと考えられた。

E. 結 語

市町村の次世代育成支援行動計画の策定に果たした保健所の役割を検討した。6割の市町村は何らかの支援を保健所から得ており、母子保健統計などの資料提供が最も多く保健所のデータベースの機能が求められていた。

市町村の人口規模により、大規模ほど策定委員などとしての参画のように、保健所の組織としての対応が求められ、小規模ほど技術的専門的な支援や調整機能に具体的な役割が求められる傾向が明らかとなった。

保健所による資料の提供とクロス表

| | | | 人口規模 | | | | 合計 |
|-------------|----|----|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 8000未満 | 8000～2万 | 2～10万 | 10万以上 | |
| 保健所による資料の提供 | あり | 度数 | 118 | 85 | 128 | 30 | 361 |
| | | % | 22.9% | 21.2% | 28.5% | 18.8% | 23.7% |
| | なし | 度数 | 397 | 316 | 321 | 130 | 1,164 |
| | | % | 77.1% | 78.8% | 71.5% | 81.3% | 76.3% |
| 合計 | | 度数 | 515 | 401 | 449 | 160 | 1,525 |
| | | % | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

Cochran-Armitage 傾向性の検定

$$P = 0.23672$$

$$X_{\text{mean}} = 5.83869$$

$$\chi^2_{\text{trend}} = 0.12622$$

保健所職員が委員としてとクロス表

| | | | 人口規模 | | | | 合計 |
|-------------|----|----|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 8000未満 | 8000～2万 | 2～10万 | 10万以上 | |
| 保健所職員が委員として | あり | 度数 | 79 | 63 | 135 | 38 | 315 |
| | | % | 15.3% | 15.7% | 30.1% | 23.8% | 20.7% |
| | なし | 度数 | 436 | 338 | 314 | 122 | 1,210 |
| | | % | 84.7% | 84.3% | 69.9% | 76.3% | 79.3% |
| 合計 | | 度数 | 515 | 401 | 449 | 160 | 1,525 |
| | | % | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

Cochran-Armitage 傾向性の検定

$$P = 0.20656$$

$$X_{\text{mean}} = 5.83869$$

$$\chi^2_{\text{trend}} = 21.94158 \quad p < 0.001$$

保健所主催の研修とクロス表

| | | | 人口規模 | | | | 合計 |
|----------|----|----|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 8000未満 | 8000～2万 | 2～10万 | 10万以上 | |
| 保健所主催の研修 | あり | 度数 | 78 | 63 | 55 | 12 | 208 |
| | | % | 15.1% | 15.7% | 12.2% | 7.5% | 13.6% |
| | なし | 度数 | 437 | 338 | 394 | 148 | 1,317 |
| | | % | 84.9% | 84.3% | 87.8% | 92.5% | 86.4% |
| 合計 | | 度数 | 515 | 401 | 449 | 160 | 1,525 |
| | | % | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

Cochran-Armitage 傾向性の検定

$$P = 0.13639$$

$$X_{\text{mean}} = 5.83869$$

$$\chi^2_{\text{trend}} = 8.03844 \quad p < 0.01$$

保健所によるニーズ分析 と クロス表

| | | | 人口規模 | | | | 合計 |
|-----------------|----|----|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 8000未満 | 8000～2万 | 2～10万 | 10万以上 | |
| 保健所による ニーズ分析 | あり | 度数 | 31 | 21 | 17 | 1 | 70 |
| | | % | 6.0% | 5.2% | 3.8% | 0.6% | 4.6% |
| | なし | 度数 | 484 | 380 | 432 | 159 | 1,455 |
| | | % | 94.0% | 94.8% | 96.2% | 99.4% | 95.4% |
| 合計 | | 度数 | 515 | 401 | 449 | 160 | 1,525 |
| | | % | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

Cochran-Armitage 傾向性の検定

P= 0.04590
 X_{mean} = 5.83869
 χ^2_{trend} = 8.95416 p<0.01

保健所による情報提供 と クロス表

| | | | 人口規模 | | | | 合計 |
|----------------|----|----|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 8000未満 | 8000～2万 | 2～10万 | 10万以上 | |
| 保健所による情 報提供 | あり | 度数 | 99 | 63 | 49 | 5 | 216 |
| | | % | 19.2% | 15.7% | 10.9% | 3.1% | 14.2% |
| | なし | 度数 | 416 | 338 | 400 | 155 | 1,309 |
| | | % | 80.8% | 84.3% | 89.1% | 96.9% | 85.8% |
| 合計 | | 度数 | 515 | 401 | 449 | 160 | 1,525 |
| | | % | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

Cochran-Armitage 傾向性の検定

P= 0.14164
 X_{mean} = 5.83869
 χ^2_{trend} = 30.34737 p<0.001

保健所による協働を促す調整 と クロス表

| | | | 人口規模 | | | | 合計 |
|-------------------|----|----|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 8000未満 | 8000～2万 | 2～10万 | 10万以上 | |
| 保健所による協 働を促す調整 | あり | 度数 | 39 | 23 | 25 | 7 | 94 |
| | | % | 7.6% | 5.7% | 5.6% | 4.4% | 6.2% |
| | なし | 度数 | 476 | 378 | 424 | 153 | 1,431 |
| | | % | 92.4% | 94.3% | 94.4% | 95.6% | 93.8% |
| 合計 | | 度数 | 515 | 401 | 449 | 160 | 1,525 |
| | | % | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

Cochran-Armitage 傾向性の検定

P= 0.06164
 X_{mean} = 5.83869
 χ^2_{trend} = 1.95806

保健所による首長への働きかけとクロス表

| | | | 人口規模 | | | | 合計 |
|----------------|----|----|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 8000未満 | 8000～2万 | 2～10万 | 10万以上 | |
| 保健所による首長への働きかけ | あり | 度数 | 20 | 14 | 1 | 0 | 35 |
| | | % | 3.9% | 3.5% | 0.2% | 0.0% | 2.3% |
| | なし | 度数 | 495 | 387 | 448 | 160 | 1,490 |
| | | % | 96.1% | 96.5% | 99.8% | 100.0% | 97.7% |
| 合計 | | 度数 | 515 | 401 | 449 | 160 | 1,525 |
| | | % | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

Cochran-Armitage 傾向性の検定

$$P = 0.02295$$

$$X_{\text{mean}} = 5.83869$$

$$\chi^2_{\text{trend}} = 17.13167 \quad p < 0.001$$

保健所による策定組織運営支援とクロス表

| | | | 人口規模 | | | | 合計 |
|----------------|----|----|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 8000未満 | 8000～2万 | 2～10万 | 10万以上 | |
| 保健所による策定組織運営支援 | あり | 度数 | 31 | 27 | 16 | 3 | 77 |
| | | % | 6.0% | 6.7% | 3.6% | 1.9% | 5.0% |
| | なし | 度数 | 484 | 374 | 433 | 157 | 1,448 |
| | | % | 94.0% | 93.3% | 96.4% | 98.1% | 95.0% |
| 合計 | | 度数 | 515 | 401 | 449 | 160 | 1,525 |
| | | % | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

Cochran-Armitage 傾向性の検定

$$P = 0.05049$$

$$X_{\text{mean}} = 5.83869$$

$$\chi^2_{\text{trend}} = 8.05835 \quad p < 0.01$$

保健所によるその他の支援とクロス表

| | | | 人口規模 | | | | 合計 |
|--------------|----|----|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 8000未満 | 8000～2万 | 2～10万 | 10万以上 | |
| 保健所によるその他の支援 | あり | 度数 | 7 | 5 | 10 | 11 | 33 |
| | | % | 1.4% | 1.2% | 2.2% | 6.9% | 2.2% |
| | なし | 度数 | 508 | 396 | 439 | 149 | 1,492 |
| | | % | 98.6% | 98.8% | 97.8% | 93.1% | 97.8% |
| 合計 | | 度数 | 515 | 401 | 449 | 160 | 1,525 |
| | | % | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

Cochran-Armitage 傾向性の検定

$$P = 0.02164$$

$$X_{\text{mean}} = 5.83869$$

$$\chi^2_{\text{trend}} = 16.39633 \quad p < 0.001$$

保健所による支援とクロス表

| | | | 人口規模 | | | | 合計 |
|----------|----|----|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 8000未満 | 8000～2万 | 2～10万 | 10万以上 | |
| 保健所による支援 | なし | 度数 | 217 | 172 | 163 | 71 | 623 |
| | | % | 42.1% | 42.9% | 36.3% | 44.4% | 40.9% |
| | あり | 度数 | 298 | 229 | 286 | 89 | 902 |
| | | % | 57.9% | 57.1% | 63.7% | 55.6% | 59.1% |
| 合計 | | 度数 | 515 | 401 | 449 | 160 | 1,525 |
| | | % | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

Cochran-Armitage 傾向性の検定

P= 0.40852
 X_{mean} = 5.83869
 χ^2_{trend} = 0.34365

分担研究報告書

次世代育成支援行動計画策定プロセスと
研究班主催研修受講の有無との関連について

福永一郎（保健計画総合研究所）
藤内修二（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター）
岩室紳也（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター）
尾崎米厚（鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野）
澁谷いづみ（岡崎市保健所） 犬塚君雄（愛知県健康福祉部）
糸数 公（沖縄県北部福祉保健所） 尾島俊之（自治医大公衆衛生学）
笹井康典（大阪府地域保健福祉室） 田上豊資（高知県健康福祉部）
日隈桂子（玖珠町保健環境課）
櫃本真聿（愛媛大学病院医療福祉支援センター）
土屋厚子（静岡県西部保健所）
福島富士子（国立保健医療科学院公衆衛生看護部）

抄 録

目的：計画策定プロセスに与える研究班主催研修受講の影響を推測する。
方法：研究班主催研修受講の有無に有効回答のあった1,525市町村について分析した。項目は策定プロセスを示す27項目について行った。
結果：母子保健担当課（係）と児童福祉担当課（係）の協働、健診での情報収集、住民の主体性の向上、親子のエンパワー、アウトカム指標を盛り込む、において良好なプロセスで策定されていた。これらは研究班主催研修会で強調した部分である。
結論：研究班主催研修受講は担当課間の連携、情報収集、ヘルスプロモーションの具現化、成果目標の設定といった策定プロセスにおける重要項目と関連があり、所期の目的を達成していると考えられた。

A. 緒 言

平成15年から16年にかけて、本研究班では市町村、保健所職員を対象に研修会を行った。研修会では、ニーズ把握や情報収集の重要性とその方法、親子をはじめとした住民のエンパワメントおよび住民の主体性の確保、関係各課の連携、成果目標の設定等、計画策定プロセスにおいて、ヘルスプロモーションの具現化を盛り込んだ研修内容であった。

今回、研究班主催研修受講、策定プロセス

との関連を調べ、研究班主催研修の効果について検討する。

B. 対象及び方法

平成16年度藤内班調査(3125市町村対象、回収率48.8%)に回答のあった1,525市町村を対象とし分析した。

分析は、表1に示す項目を策定プロセスをみる項目として設定した。

人口規模を、8000未満、8000～2万、

2～10万、10万以上の4つに分類し、人口規模別に集計し、 χ^2 二乗検定を行った。全体の検定については、人口規模の影響を排除するために、人口規模別の層を併合した Mantel-Haenszel test により行った。

研修会を受講したと回答した市町村は103市町村である。

C. 結果 (表2および末尾集計表)

「1-① ニーズ調査の協働」、「1-② 策定作業の協働」、「10 健診での情報収集をしたか」、「20-6 住民の主体性の向上 (策定重視項目)」、「20-8 親子のエンパワー (策定重視項目)」、「22 アウトカム指標を盛り込む」について、研修を受講したとする市町村の方が良好な傾向を認めた。「20-7 少子化の歯止め (策定重視項目)」については、逆の傾向が見られた。

D. 考察

今回の分析結果から、本研究班の強調したニーズ把握や情報収集の重要性とその方法、親子をはじめとした住民のエンパワメントおよび住民の主体性の確保、関係各課の連携、成果目標の設定等、計画策定プロセスにおいて、ヘルスプロモーションの具現化をめざす部分について、研修を受講したとする市町村とそうでない市町村との間に差を認めた。このことから、研修会で研究班が伝えたかった内容は、ある程度計画策定に影響を及ぼしているものと考えられ、研修は所期の目的を達

したものと推測される。

なお、少子化の歯止めについては、重視しないとする市町村が研修を受講していない市町村より研修を受講した市町村の方が割合が高かったが、これは重視項目が8項目から4項目を選ぶ設問となっており、研修会で強調した住民の主体性の向上や親子のエンパワーを重視したことによって優先順位が下がったことが原因として考えられる。

E. 結論

研究班主催研修受講は担当課間の連携、情報収集、ヘルスプロモーションの具現化、成果目標の設定といった策定プロセスにおける重要項目と関連があり、所期の目的を達成していると考えられた。

表1 分析項目

| 質問内容 | 文中での表記 | カテゴリー | |
|---|--|--------------------|-------|
| | | 良好 | 不良 |
| 1. 地域行動計画の策定のために母子保健担当課(係)と児童福祉担当課(係)の協働状況はいかがですか? ① ニーズ調査(調査票の作成, 調査対象の選定など) | 1-① ニーズ調査の協働 | 協働または協力あり | なし |
| 1.同設問 ② ニーズ調査後の策定作業 | 1-② 策定作業の協働 | 協働または協力あり | なし |
| 6. 母子保健計画の推進状況や推進の課題について, 策定委員会で議論されていますか? | 6 母子保健計画や推進の課題を策定委員会で議論 | あり | なし |
| 7. ニーズ調査では, 国のモデル調査票に加えて, その他のニーズを把握するための設問を追加しましたか? | 7 その他のニーズ設問を追加 | あり | なし |
| 10. 乳幼児健康診査の問診などを活用して策定に必要な情報を集めましたか? | 10 健診での情報収集をしたか | 「はい」または「これから集める予定」 | 「いいえ」 |
| 12. 関係機関職員(保育士, 児童民生委員など)に対して, 現状の課題についてヒアリングを行いましたか(行いますか)? | 12 保育士, 民生児童委員などに対してヒアリングを実施 | あり | なし |
| 13. 関係機関職員(養護教諭, 一般の教諭, 小児科医など)に対して, 現状の課題についてヒアリングを行いましたか(行いますか)? | 13 養護教諭, 一般教諭, 小児科医などに対してヒアリングを実施 | あり | なし |
| 14. 計画策定において, 教育委員会はどのような役割を果たしていますか? 6関わりあり・なし | 14-6 教育委員会の関わり | あり | なし |
| 15. 計画策定において, 商工・労働部局はどのような役割を果たしていますか? 6関わりあり・なし | 15-6 商工・労働部局の関わり | あり | なし |
| 17. 計画策定において, 子どもと親に関わる住民組織(子育てサークル, PTA, 愛育班, 母子保健推進員等)にどんな役割を期待していますか? 7期待あり・なし | 17-7 子どもと親に係わる住民組織の役割(期待) | あり | なし |
| 18. 計画策定において, 他の世代の住民組織(婦人会, 老人会など)に, どのような役割を期待していますか? 7期待あり・なし | 18-7 その他の住民組織の役割(期待) | あり | なし |
| 17.同設問 3ヒアリングやインタビューの対象 | *17-3 子どもと親に係わる住民組織にヒアリングやグループインタビューの役割を期待 | あり | なし |
| 18同設問 3ヒアリングやインタビューの対象 | *18-3 その他の住民組織にヒアリングやグループインタビューの役割を期待 | あり | なし |
| 19. 計画策定の目的についてスタッフ間で十分確認しましたか? した・しない | 19 策定目的の確認 した・しない | した | しない |
| 19.同設問 十分・不十分 | *19 策定目的の確認 十分・不十分 | 十分議論した | 不十分 |
| 20. 計画策定では何を重視して策定を進めていますか? 1. 新規事業の提案 | 20-1 新規事業の提案(策定重視項目) | 重視 | 重視せず |
| 20.同設問 2. 既存事業の見直し | 20-2 既存事業の見直し(策定重視項目) | 重視 | 重視せず |
| 20.同設問 3. 予算やマンパワーの確保 | 20-3 子育てやマンパワーの確保(策定重視項目) | 重視 | 重視せず |
| 20.同設問 4. 関係機関との協働 | 20-4 関係機関との協働(策定重視項目) | 重視 | 重視せず |
| 20.同設問 5. 保育サービスの充実 | 20-5 保育サービスの充実(策定重視項目) | 重視 | 重視せず |
| 20.同設問 6. 住民の主体性の向上 | 20-6 住民の主体性の向上(策定重視項目) | 重視 | 重視せず |
| 20.同設問 7. 少子化の歯止め | 20-7 少子化の歯止め(策定重視項目) | 重視 | 重視せず |
| 20.同設問 8. 親子のエンパワー | 20-8 親子のエンパワー(策定重視項目) | 重視 | 重視せず |
| 22. 計画には保育サービスの目標事業量のほかに, アウトカム指標を盛り込む予定ですか? | 22 アウトカム指標を盛り込む | あり | なし |
| 29. 貴団体では, 企画や計画策定についての職員研修などを実施していますか? | 29 企画や計画策定についての職員研修実施 | あり | なし |
| 30. 次世代育成支援について, 職員や関係者と学習する機会を持ちましたか(持ちますか)? | 30 職員や関係者と学習する機会 | あり | なし |
| 31. 「子育てフォーラム」等, 次世代育成支援について住民と考える機会を持ちますか? | 31 次世代育成支援について住民と考える機会 | あり | なし |

表2 班会議主催研修会受講と策定プロセス

| 班会議主催研修会受講(あり) | ↑の上向き | 人口規模 | | | | | 全体 |
|--|--------------------|------------|-------------|-----------|-----------|---|----|
| | | 8000未 満 | 8000～ 2万 | 2～10 万 | 10万以 上 | | |
| 1-① ニーズ調査の協働 | 協働または協力あり | - | - | ↑ | - | ↑ | |
| 1-② 策定作業の協働 | 協働または協力あり | - | - | - | - | ↑ | |
| 6 母子保健計画や推進の課題を策定委員会で議論 | あり | - | ↑ | - | - | - | |
| 7 その他のニーズ設問を追加 | あり | - | - | - | - | - | |
| 10 健診での情報収集をしたか | 「はい」または「これから集める予定」 | ↑ | - | - | - | ↑ | |
| 12 保育士、民生児童委員などに対してヒアリングを実施 | あり | - | - | - | - | - | |
| 13 養護教諭、一般教諭、小児科医などに対してヒアリングを実施 | あり | - | - | - | - | - | |
| 14-6 教育委員会の関わり | なし | - | - | - | - | - | |
| 15-6 商工・労働部局の関わり | なし | - | - | - | - | - | |
| 17-7 子どもと親に係わる住民組織の役割(期待) | なし | - | - | - | - | - | |
| 18-7 その他の住民組織の役割(期待) | なし | - | - | - | - | - | |
| *17-3 子どもと親に係わる住民組織にヒアリングやグループインタビューの役割を期待 | あり | - | - | - | - | - | |
| *18-3 その他の住民組織にヒアリングやグループインタビューの役割を期待 | あり | - | - | - | - | - | |
| 19 策定目的の確認 した・しない | した | - | - | - | - | - | |
| *19 策定目的の確認 十分・不十分 | 十分議論した | - | - | - | - | - | |
| 20-1 新規事業の提案(策定重視項目) | 重視 | - | - | - | - | - | |
| 20-2 既存事業の見直し(策定重視項目) | 重視 | - | - | - | - | - | |
| 20-3 子育てやマンパワーの確保(策定重視項目) | 重視 | - | - | - | - | - | |
| 20-4 関係機関との協働(策定重視項目) | 重視 | - | - | - | - | - | |
| 20-5 保育サービスの充実(策定重視項目) | 重視 | - | - | - | - | - | |
| 20-6 住民の主体性の向上(策定重視項目) | 重視 | - | - | - | - | ↑ | |
| 20-7 少子化の歯止め(策定重視項目) | 重視 | - | - | ↓ | - | ↓ | |
| 20-8 親子のエンパワー(策定重視項目) | 重視 | - | ↑ | ↑ | - | ↑ | |
| 22 アウトカム指標を盛り込む | あり | ↑ | - | ↑ | - | ↑ | |
| 29 企画や計画策定についての職員研修実施 | あり | - | - | - | - | - | |
| 30 職員や関係者と学習する機会 | あり | - | - | - | - | - | |
| 31 次世代育成支援について住民と考える機会 | あり | - | - | - | - | - | |

1-① ニーズ調査の協働

| 人口規模 | | 協働または協力あり | ほとんど相談がなかった | 合計 | |
|---------|-----------------|----------------|--------------|-----------------|---------------------------------|
| 8000未満 | 研修の受講(研究班主催) あり | 14 93.3% | 1 6.7% | 15 100.0% | χ-square test ns |
| | なし | 357 73.2% | 131 26.8% | 488 100.0% | |
| | 合計 | 371 73.8% | 132 26.2% | 503 100.0% | |
| 8000~2万 | 研修の受講(研究班主催) あり | 14 77.8% | 4 22.2% | 18 100.0% | χ-square test ns |
| | なし | 268 71.1% | 109 28.9% | 377 100.0% | |
| | 合計 | 282 71.4% | 113 28.6% | 395 100.0% | |
| 2~10万 | 研修の受講(研究班主催) あり | 39 97.5% | 1 2.5% | 40 100.0% | χ-square test p<0.005 |
| | なし | 290 71.6% | 115 28.4% | 405 100.0% | |
| | 合計 | 329 73.9% | 116 26.1% | 445 100.0% | |
| 10万以上 | 研修の受講(研究班主催) あり | 23 82.1% | 5 17.9% | 28 100.0% | χ-square test |
| | なし | 105 81.4% | 24 18.6% | 129 100.0% | |
| | 合計 | 128 81.5% | 29 18.5% | 157 100.0% | |
| 全体 | 研修の受講(研究班主催) あり | 90 89.1% | 11 10.9% | 101 100.0% | Mantel-Haenszel test p<0.005 |
| | なし | 1,020 72.9% | 379 27.1% | 1,399 100.0% | |
| | 合計 | 1,110 74.0% | 390 26.0% | 1,500 100.0% | |

1-② 策定作業の協働

| 人口規模 | | 協働または協力あり | ほとんど相談がなかった | 合計 | |
|---------|-----------------|----------------|--------------|-----------------|---------------------------------|
| 8000未満 | 研修の受講(研究班主催) あり | 13 86.7% | 2 13.3% | 15 100.0% | χ-square test ns |
| | なし | 346 71.6% | 137 28.4% | 483 100.0% | |
| | 合計 | 359 72.1% | 139 27.9% | 498 100.0% | |
| 8000~2万 | 研修の受講(研究班主催) あり | 17 94.4% | 1 5.6% | 18 100.0% | χ-square test ns |
| | なし | 277 74.9% | 93 25.1% | 370 100.0% | |
| | 合計 | 294 75.8% | 94 24.2% | 388 100.0% | |
| 2~10万 | 研修の受講(研究班主催) あり | 39 95.1% | 2 4.9% | 41 100.0% | χ-square test ns |
| | なし | 338 84.3% | 63 15.7% | 401 100.0% | |
| | 合計 | 377 85.3% | 65 14.7% | 442 100.0% | |
| 10万以上 | 研修の受講(研究班主催) あり | 28 100.0% | 0 0.0% | 28 100.0% | χ-square test |
| | なし | 121 94.5% | 7 5.5% | 128 100.0% | |
| | 合計 | 149 95.5% | 7 4.5% | 156 100.0% | |
| 全体 | 研修の受講(研究班主催) あり | 97 95.1% | 5 4.9% | 102 100.0% | Mantel-Haenszel test p<0.005 |
| | なし | 1,082 78.3% | 300 21.7% | 1,382 100.0% | |
| | 合計 | 1,179 79.4% | 305 20.6% | 1,484 100.0% | |

6 母子保健計画や推進の課題を策定委員会で議論

| 人口規模 | | | あり | なし | 合計 | |
|-------------|----------------------|-------|--------|--------|----------|-----------------------|
| 8000未満 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 6 | 5 | 11 | |
| | | なし | 140 | 225 | 365 | χ^2 -square test |
| | | 38.4% | 61.6% | 100.0% | ns | |
| | 合計 | 146 | 230 | 376 | | |
| | | 38.8% | 61.2% | 100.0% | | |
| 8000~2 万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 11 | 3 | 14 | |
| | | なし | 115 | 162 | 277 | χ^2 -square test |
| | | 41.5% | 58.5% | 100.0% | $p<0.05$ | |
| | 合計 | 126 | 165 | 291 | | |
| | 43.3% | 56.7% | 100.0% | | | |
| 2~10万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 22 | 13 | 35 | |
| | | なし | 152 | 162 | 314 | χ^2 -square test |
| | | 48.4% | 51.6% | 100.0% | ns | |
| | 合計 | 174 | 175 | 349 | | |
| | 49.9% | 50.1% | 100.0% | | | |
| 10万以上 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 8 | 13 | 21 | |
| | | なし | 65 | 51 | 116 | χ^2 -square test |
| | | 58.1% | 44.0% | 100.0% | ns | |
| | 合計 | 73 | 64 | 137 | | |
| | 53.3% | 46.7% | 100.0% | | | |
| 全体 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 47 | 34 | 81 | |
| | | なし | 472 | 600 | 1,072 | Mantel-Haenszel test |
| | | 44.0% | 56.0% | 100.0% | ns | |
| | 合計 | 519 | 634 | 1,153 | | |
| | 45.0% | 55.0% | 100.0% | | | |

7 その他のニーズ設問を追加

| 人口規模 | | | あり | なし | 合計 | |
|-------------|----------------------|-------|--------|--------|-------|-----------------------|
| 8000未満 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 1 | 14 | 15 | |
| | | なし | 18 | 482 | 500 | χ^2 -square test |
| | | 3.6% | 96.4% | 100.0% | ns | |
| | 合計 | 19 | 496 | 515 | | |
| | 3.7% | 96.3% | 100.0% | | | |
| 8000~2 万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 0 | 18 | 18 | |
| | | なし | 15 | 368 | 383 | χ^2 -square test |
| | | 3.9% | 96.1% | 100.0% | ns | |
| | 合計 | 15 | 386 | 401 | | |
| | 3.7% | 96.3% | 100.0% | | | |
| 2~10万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 4 | 37 | 41 | |
| | | なし | 36 | 372 | 408 | χ^2 -square test |
| | | 8.8% | 91.2% | 100.0% | ns | |
| | 合計 | 40 | 409 | 449 | | |
| | 8.9% | 91.1% | 100.0% | | | |
| 10万以上 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 1 | 28 | 29 | |
| | | なし | 14 | 116 | 130 | χ^2 -square test |
| | | 10.8% | 89.2% | 100.0% | ns | |
| | 合計 | 15 | 144 | 159 | | |
| | 9.4% | 90.6% | 100.0% | | | |
| 全体 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 6 | 97 | 103 | |
| | | なし | 83 | 1,338 | 1,421 | Mantel-Haenszel test |
| | | 5.8% | 94.2% | 100.0% | ns | |
| | 合計 | 89 | 1,435 | 1,524 | | |
| | 5.8% | 94.2% | 100.0% | | | |

10 健診での情報収集をしたか

| 人口規模 | | | 「はい」または 「これから集める予定」 | 「いいえ」 | 合計 | |
|-------------|----------------------|--------------|------------------------|-----------------|-----------------|--------------------------------------|
| 8000未満 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 11 73.3% | 4 26.7% | 15 100.0% | χ^2 -square test $p < 0.005$ |
| | | なし | 165 34.0% | 321 66.0% | 486 100.0% | |
| | 合計 | 176 35.1% | 325 64.9% | 501 100.0% | | |
| 8000~2 万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 9 50.0% | 9 50.0% | 18 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | なし | 123 32.5% | 256 67.5% | 379 100.0% | |
| | 合計 | 132 33.2% | 265 66.8% | 397 100.0% | | |
| 2~10万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 21 51.2% | 20 48.8% | 41 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | なし | 166 41.8% | 231 58.2% | 397 100.0% | |
| | 合計 | 187 42.7% | 251 57.3% | 438 100.0% | | |
| 10万以上 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 12 41.4% | 17 58.6% | 29 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | なし | 47 36.2% | 83 63.8% | 130 100.0% | |
| | 合計 | 59 37.1% | 100 62.9% | 159 100.0% | | |
| 全体 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 53 51.5% | 50 48.5% | 103 100.0% | Mantel-Haenszel test $p < 0.01$ |
| | | なし | 501 36.0% | 891 64.0% | 1,392 100.0% | |
| | 合計 | 554 37.1% | 941 62.9% | 1,495 100.0% | | |

12 保育士、民生児童委員などに対してヒアリングを実施

| 人口規模 | | | あり | なし | 合計 | |
|-------------|----------------------|--------------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------------------|
| 8000未満 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 8 53.3% | 7 46.7% | 15 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | なし | 266 55.3% | 215 44.7% | 481 100.0% | |
| | 合計 | 274 55.2% | 222 44.8% | 496 100.0% | | |
| 8000~2 万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 12 66.7% | 6 33.3% | 18 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | なし | 212 56.2% | 165 43.8% | 377 100.0% | |
| | 合計 | 224 56.7% | 171 43.3% | 395 100.0% | | |
| 2~10万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 28 68.3% | 13 31.7% | 41 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | なし | 242 61.0% | 155 39.0% | 397 100.0% | |
| | 合計 | 270 61.6% | 168 38.4% | 438 100.0% | | |
| 10万以上 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 16 57.1% | 12 42.9% | 28 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | なし | 71 54.6% | 59 45.4% | 130 100.0% | |
| | 合計 | 87 55.1% | 71 44.9% | 158 100.0% | | |
| 全体 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 64 62.7% | 38 37.3% | 102 100.0% | Mantel-Haenszel test ns |
| | | なし | 791 57.1% | 594 42.9% | 1,385 100.0% | |
| | 合計 | 855 57.5% | 632 42.5% | 1,487 100.0% | | |

13 養護教諭、一般教諭、小児科医などに対してヒアリングを実施

| 人口規模 | | | あり | なし | 合計 | |
|-------------|----------------------|----|--------------|--------------|-----------------|----------------------|
| 8000未満 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 7 46.7% | 8 53.3% | 15 100.0% | χ-square test |
| | | なし | 143 30.0% | 333 70.0% | 476 100.0% | |
| | 合計 | | 150 30.5% | 341 69.5% | 491 100.0% | ns |
| | | | | | | |
| 8000~2 万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 9 50.0% | 9 50.0% | 18 100.0% | χ-square test |
| | | なし | 125 33.2% | 252 66.8% | 377 100.0% | |
| | 合計 | | 134 33.9% | 261 66.1% | 395 100.0% | ns |
| | | | | | | |
| 2~10万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 15 37.5% | 25 62.5% | 40 100.0% | χ-square test |
| | | なし | 137 34.9% | 255 65.1% | 392 100.0% | |
| | 合計 | | 152 35.2% | 280 64.8% | 432 100.0% | ns |
| | | | | | | |
| 10万以上 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 7 25.0% | 21 75.0% | 28 100.0% | χ-square test |
| | | なし | 39 30.0% | 91 70.0% | 130 100.0% | |
| | 合計 | | 46 29.1% | 112 70.9% | 158 100.0% | ns |
| | | | | | | |
| 全体 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 38 37.6% | 63 62.4% | 101 100.0% | Mantel-Haenszel test |
| | | なし | 444 32.3% | 931 67.7% | 1,375 100.0% | |
| | 合計 | | 482 32.7% | 994 67.3% | 1,476 100.0% | ns |
| | | | | | | |

14-6 教育委員会の関わり

| 人口規模 | | | なし | あり | 合計 | |
|-------------|----------------------|----|--------------|----------------|-----------------|----------------------|
| 8000未満 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 3 20.0% | 12 80.0% | 15 100.0% | χ-square test |
| | | なし | 115 23.0% | 385 77.0% | 500 100.0% | |
| | 合計 | | 118 22.9% | 397 77.1% | 515 100.0% | ns |
| | | | | | | |
| 8000~2 万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 0 0.0% | 18 100.0% | 18 100.0% | χ-square test |
| | | なし | 51 13.3% | 332 86.7% | 383 100.0% | |
| | 合計 | | 51 12.7% | 350 87.3% | 401 100.0% | ns |
| | | | | | | |
| 2~10万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 0 0.0% | 41 100.0% | 41 100.0% | χ-square test |
| | | なし | 28 6.9% | 380 93.1% | 408 100.0% | |
| | 合計 | | 28 6.2% | 421 93.8% | 449 100.0% | ns |
| | | | | | | |
| 10万以上 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | | 29 100.0% | 29 100.0% | χ-square test |
| | | なし | | 131 100.0% | 131 100.0% | |
| | 合計 | | | 160 100.0% | 160 100.0% | ns |
| | | | | | | |
| 全体 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 3 2.9% | 100 97.1% | 103 100.0% | Mantel-Haenszel test |
| | | なし | 194 13.6% | 1,228 86.4% | 1,422 100.0% | |
| | 合計 | | 197 12.9% | 1,328 87.1% | 1,525 100.0% | ns |
| | | | | | | |

15-6 商工・労働部局の関わり

| 人口規模 | | なし | あり | 合計 | |
|---------|----------------------|-------|-------|--------|-----------------------|
| 8000未満 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 8 | 7 | 15 |
| | | なし | 53.3% | 46.7% | 100.0% |
| | 合計 | 334 | 166 | 500 | χ^2 -square test |
| | | 66.8% | 33.2% | 100.0% | ns |
| 合計 | | 342 | 173 | 515 | |
| | | 66.4% | 33.6% | 100.0% | |
| 8000~2万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 12 | 6 | 18 |
| | | なし | 66.7% | 33.3% | 100.0% |
| | 合計 | 220 | 163 | 383 | χ^2 -square test |
| | | 57.4% | 42.6% | 100.0% | ns |
| 合計 | | 232 | 169 | 401 | |
| | | 57.9% | 42.1% | 100.0% | |
| 2~10万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 10 | 31 | 41 |
| | | なし | 24.4% | 75.6% | 100.0% |
| | 合計 | 126 | 282 | 408 | χ^2 -square test |
| | | 30.9% | 69.1% | 100.0% | ns |
| 合計 | | 136 | 313 | 449 | |
| | | 30.3% | 69.7% | 100.0% | |
| 10万以上 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 2 | 27 | 29 |
| | | なし | 6.9% | 93.1% | 100.0% |
| | 合計 | 17 | 114 | 131 | χ^2 -square test |
| | | 13.0% | 87.0% | 100.0% | ns |
| 合計 | | 19 | 141 | 160 | |
| | | 11.9% | 88.1% | 100.0% | |
| 全体 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 32 | 71 | 103 |
| | | なし | 31.1% | 68.9% | 100.0% |
| | 合計 | 697 | 725 | 1,422 | Mantel-Haenszel test |
| | | 49.0% | 51.0% | 100.0% | ns |
| 合計 | | 729 | 796 | 1,525 | |
| | | 47.8% | 52.2% | 100.0% | |

17-7 子どもと親に係わる住民組織の役割(期待)

| 人口規模 | | なし | あり | 合計 | |
|---------|----------------------|-------|-------|--------|-----------------------|
| 8000未満 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 0 | 15 | 15 |
| | | なし | 0.0% | 100.0% | 100.0% |
| | 合計 | 64 | 436 | 500 | χ^2 -square test |
| | | 12.8% | 87.2% | 100.0% | ns |
| 合計 | | 64 | 451 | 515 | |
| | | 12.4% | 87.6% | 100.0% | |
| 8000~2万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 1 | 17 | 18 |
| | | なし | 5.6% | 94.4% | 100.0% |
| | 合計 | 35 | 348 | 383 | χ^2 -square test |
| | | 9.1% | 90.9% | 100.0% | ns |
| 合計 | | 36 | 365 | 401 | |
| | | 9.0% | 91.0% | 100.0% | |
| 2~10万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 3 | 38 | 41 |
| | | なし | 7.3% | 92.7% | 100.0% |
| | 合計 | 28 | 380 | 408 | χ^2 -square test |
| | | 6.9% | 93.1% | 100.0% | ns |
| 合計 | | 31 | 418 | 449 | |
| | | 6.9% | 93.1% | 100.0% | |
| 10万以上 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 1 | 28 | 29 |
| | | なし | 3.4% | 96.6% | 100.0% |
| | 合計 | 3 | 128 | 131 | χ^2 -square test |
| | | 2.3% | 97.7% | 100.0% | ns |
| 合計 | | 4 | 156 | 160 | |
| | | 2.5% | 97.5% | 100.0% | |
| 全体 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 5 | 98 | 103 |
| | | なし | 4.9% | 95.1% | 100.0% |
| | 合計 | 130 | 1,292 | 1,422 | Mantel-Haenszel test |
| | | 9.1% | 90.9% | 100.0% | ns |
| 合計 | | 135 | 1,390 | 1,525 | |
| | | 8.9% | 91.1% | 100.0% | |

18-7 その他の住民組織の役割(期待)

| 人口規模 | | | なし | あり | 合計 | |
|-------------|----------------------|----|--------------|--------------|-----------------|-----------------------------|
| 8000未満 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 6 40.0% | 9 60.0% | 15 100.0% | |
| | | なし | 212 42.4% | 288 57.6% | 500 100.0% | |
| | 合計 | | 218 42.3% | 297 57.7% | 515 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | | | | | |
| 8000~2 万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 7 38.9% | 11 61.1% | 18 100.0% | |
| | | なし | 178 46.5% | 205 53.5% | 383 100.0% | |
| | 合計 | | 185 46.1% | 216 53.9% | 401 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | | | | | |
| 2~10万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 18 43.9% | 23 56.1% | 41 100.0% | |
| | | なし | 171 41.9% | 237 58.1% | 408 100.0% | |
| | 合計 | | 189 42.1% | 260 57.9% | 449 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | | | | | |
| 10万以上 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 4 13.8% | 25 86.2% | 29 100.0% | |
| | | なし | 41 31.3% | 90 68.7% | 131 100.0% | |
| | 合計 | | 45 28.1% | 115 71.9% | 160 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | | | | | |
| 全体 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 35 34.0% | 68 66.0% | 103 100.0% | |
| | | なし | 602 42.3% | 820 57.7% | 1,422 100.0% | |
| | 合計 | | 637 41.8% | 888 58.2% | 1,525 100.0% | Mantel-Haenszel test ns |
| | | | | | | |

17-3 子どもと親に係わる住民組織にヒアリングやグループインタビューの役割を期待

| 人口規模 | | | あり | なし | 合計 | |
|-------------|----------------------|----|--------------|----------------|-----------------|-----------------------------|
| 8000未満 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 5 33.3% | 10 66.7% | 15 100.0% | |
| | | なし | 139 27.8% | 361 72.2% | 500 100.0% | |
| | 合計 | | 144 28.0% | 371 72.0% | 515 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | | | | | |
| 8000~2 万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 5 27.8% | 13 72.2% | 18 100.0% | |
| | | なし | 111 29.0% | 272 71.0% | 383 100.0% | |
| | 合計 | | 116 28.9% | 285 71.1% | 401 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | | | | | |
| 2~10万 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 21 51.2% | 20 48.8% | 41 100.0% | |
| | | なし | 149 36.5% | 259 63.5% | 408 100.0% | |
| | 合計 | | 170 37.9% | 279 62.1% | 449 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | | | | | |
| 10万以上 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 9 31.0% | 20 69.0% | 29 100.0% | |
| | | なし | 51 38.9% | 80 61.1% | 131 100.0% | |
| | 合計 | | 60 37.5% | 100 62.5% | 160 100.0% | χ^2 -square test ns |
| | | | | | | |
| 全体 | 研修の受講 (研究班主 催) | あり | 40 38.8% | 63 61.2% | 103 100.0% | |
| | | なし | 450 31.6% | 972 68.4% | 1,422 100.0% | |
| | 合計 | | 490 32.1% | 1,035 67.9% | 1,525 100.0% | Mantel-Haenszel test ns |
| | | | | | | |